

令和2年秋の叙勲・褒章受章者

11月3日に叙勲受章者及び褒章受章者が発表され、以下の会員が栄に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲受章者の横顔



旭日双光章（弁理士業務功労）

やぎ ひでひと
八木 秀人

学歴・職歴

昭和50年 東海大学工学部航空宇宙学科卒業
昭和50年～57年 鈴木秀雄特許事務所
昭和57年～61年 鶴沼特許事務所
昭和61年 八木特許事務所（現あお葉国際特許事務所）所長
（現在） あお葉国際特許事務所 所長

弁理士会歴

昭和56年 弁理士登録（8782号）
昭和62年度 国際活動委員会 副委員長
平成元年度 弁理士会業務機械化委員会 副委員長
平成6年度 弁理士報酬制度委員会 副委員長
平成7年度 特許制度昂揚普及委員会 委員長
平成10年度～11年度 弁理士会常議員
平成15年度～16年度 総合政策検討委員会 副委員長
平成17年度 日本弁理士会執行補佐役
平成18年度 日本弁理士会副会長
平成19年度～24年度 研修所 副所長
平成20年度 次年度会務検討委員会 委員長
平成20年度～21年度 弁理士制度110周年記念事業実行委員会 副委員長
平成22年度 次年度人事検討委員会 委員長
平成25年度 日本弁理士会執行理事
平成25年度～26年度 日本弁理士会常議員
平成30年度 継続研修履修状況管理委員会 委員長
令和2年度 日本弁理士会監事

賞

平成8年 弁理士会特別功労表彰
平成12年 弁理士会特別功労表彰
平成19年 日本弁理士会特別功労表彰
平成21年 弁理士制度110周年記念式典特別功労者表彰
平成22年 日本弁理士会特別功労表彰
平成22年 日本弁理士会永年功労表彰
平成26年 日本弁理士会特別功労表彰
令和元年 弁理士制度120周年記念式典特別功労者表彰

受章に浴して

令和2年の秋の叙勲の榮に浴し、身に余る光榮に存じます。これもひとえに皆様のおかげと感謝しております。特に、受験生当時から現在も変わらず私を支え続けてくれる妻には、感謝しきれません。昭和56年登録後、昭和61年に独立開業し、これまで大病することなく、忙しくかつ楽しく働くことができ、そして今も働き続けられることは、ありがたいことです。弁理士の仕事は、キャリアアップにつながり依頼者に喜ばれそして収益にもつながる非常に素晴らしいもの、というのが私の持論です。思い起こせば、平成18年谷会長の執行部（副会長）として、幸田研修所所長とともに、会員研修に不可欠なeラーニング研修システムを実効あるものにしたこと、平成19年～24年研修所副所長として能力担保研修の実施に携わってきたこと、平成25年古谷会長の執行部を支える執行理事として、弁理士法1条の使命条項導入に微力ながら協力できたこと等々が浮かびます。これまで、少しは知財業界に貢献してきたかな、と思う次第です。



旭日双光章（弁理士業務功労）

わた なべ かず ひら
渡 邊 一 平

学歴・職歴

昭和 47 年 名古屋大学工学部化学工学科卒業
昭和 47 年～ 59 年 千代田化工建設株式会社
（現在） 特許業務法人東名国際特許事務所

弁理士会歴

昭和 57 年 弁理士登録（8861 号）
昭和 63 年度～平成元年度 国際活動委員会 副委員長
平成 2 年度 国際緊急問題対策委員会 副委員長
平成 3 年度～ 4 年度 弁理士会常議員
平成 5 年度 広報委員会 委員長
平成 7 年度 国際活動委員会 副委員長
平成 9 年度 「弁理士業務の実態及び意識調査」支援委員会 副委員長
平成 13 年度 日本弁理士会執行補佐役
平成 14 年度 日本弁理士会副会長
平成 15 年度 日本弁理士会執行補佐役
平成 16 年度 日本知的財産仲裁センター 監事
平成 17 年度～ 22 年度 知的財産支援センター 副センター長
平成 19 年度 次年度人事検討委員会 委員長
平成 20 年度 次年度人事検討委員会 副委員長
平成 23 年度～ 24 年度 知的財産支援センター センター長
平成 25 年度～ 26 年度 知的財産支援センター 副センター長
平成 27 年度 日本弁理士会執行理事
平成 28 年度 ADR 推進機構 副委員長
平成 30 年度～令和元年度 日本弁理士会常議員

公職

平成 14 年度～ 16 年度 文部科学省科学技術学術審議会専門委員（研究計画評価分科会）

懇談会

平成 12 年度 日本弁理士会と特技懇との懇談会 委員

賞

平成 5 年度 弁理士会特別功労表彰
平成 15 年度 日本弁理士会特別功労表彰
平成 16 年度 日本弁理士会特別功労表彰
平成 20 年度 日本弁理士会特別功労表彰
平成 21 年度 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰
平成 22 年度 日本弁理士会永年功労表彰
平成 24 年度 日本弁理士会特別功労表彰
平成 28 年度 日本弁理士会感謝状
平成 28 年度 日本弁理士会特別功労表彰
令和 元 年度 弁理士制度 120 周年記念式典特別功労者表彰
令和 2 年度 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

令和 2 年秋の叙勲に際して受章の榮譽に浴することができ、皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

私が資格を取得した昭和 57 年から現在まで 38 年経過しましたが、弁理士を取り巻く環境は大きく変化しました。昭和 57 年当時は、弁理士資格を取れば独立するのが当たり前の時代でしたが、平成 20 年（2008 年）のリーマンショックで環

境が激変し、本年春からのコロナ禍と更なる環境の変化で、独立する弁理士は本当に少なくなりました。時代の流れとはいえ、この資格がもっと魅力的であってほしいと願います。

日本弁理士会の副会長を務めた平成14年度は、当時の小泉首相が知財立国を宣言した年であり、その対応で大変忙しかった記憶があります。この年以降弁理士の大幅増員が行われました。平成17年度から平成26年度までは、知的財産支援センターの副センター長及びセンター長を務めました。各地域の市長や担当者の学校や企業への知財支援に対する取り組み、熱意を感じ、その意義を改めて実感した次第です。

世界の経済状況とともに知的財産制度の変化は激しさを増すばかりですが、我が国の弁理士業務の発展のため、これからも微力ながら尽力させて頂く所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



旭日中綬章 (弁護士功労)

こ 寺 まさ し
小 寺 正 史

学歴・職歴

昭和 50 年 北海道大学法学部卒業
平成 9 年 北海道大学法学研究科修士課程終了
昭和 55 年 弁護士登録
平成 17 年 札幌弁護士会会長
平成 18 年 北海道弁護士会連合会理事長
平成 20 年 日本弁護士連合会副会長
(現在) 弁護士法人 小寺・松田法律事務所

弁理士会歴

昭和 60 年 弁理士登録 (9245 号)
平成 27 年度～ 29 年度 北海道支部 北海道キャラバン 副キャラバン長

賞

平成 22 年 日本弁理士会永年功労表彰

受章に浴して

令和 2 年秋の叙勲の榮譽に浴し、身に余る光榮に存じます。これもひとえに皆様方のお陰と深く感謝申し上げます。

私が弁理士の登録をしたそもそのきっかけは、北海道には弁理士が少なく、地元の企業が持っている優位性を生かせず困っていたからでした。その後、北海道に弁理士が増え私の出番はなくなりました。しかし、弁理士登録のために弁理士会に出向いた際、せっかく弁理士登録したのですから続けて下さいとお言葉をいただき、現在も弁理士登録を続けています。

弁理士登録のおかげで、多くの弁理士の先生と親しくさせていただいております。また、小樽商科大学大学院において知財講座を、弁理士の先生と一緒に担当させていただいております。

弁理士会の研修に参加して勉強させていただいておりますが、知財コンサルの研修に参加した際大変感銘を受けました。受講後、講師の先生に勉強したいとお願いしましたところ、快く知財経営コンサルティング委員会の委員にいただきました。年何回かの東京での委員会に参加させていただき、皆さんと楽しく議論させていただきました。その後知財キャラバンが始まり、北海道の企業を担当させていただき、大変勉強になりました。

このように新しい分野に興味を抱き、取り組むことが出来たのも皆さまのお陰と心から感謝申し上げます。これまで同様、ご指導・ご厚誼を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



瑞宝小綬章 (経済産業行政事務功労)

え とう やす こ
江 藤 保 子

学歴・職歴

昭和 47 年 3 月 東京農工大学農学部農芸化学科卒業
 昭和 47 年 4 月 特許庁入庁
 昭和 51 年 5 月 特許庁審査第 2 部審査官 (画像処理, 応用光学)
 平成 元年 10 月 特許庁審判部審判官 (第 17 部門: 化学工学)
 平成 3 年 4 月 特許庁審査第 2 部審査官 (計測, 応用光学)
 平成 8 年 1 月 特許庁審判部上級審判官 (第 22 部門: 生活機器)
 平成 10 年 4 月 特許庁審判部主席審判官 (第 5 部門: 写真材料・電子写真)
 平成 11 年 7 月 特許庁審判部審判長 (第 17 部門: 無機化学・環境化学)
 平成 13 年 1 月 特許庁審判部審判長 (第 5 部門: 写真材料・電子写真)
 平成 14 年 4 月 特許庁審判部部門長・審判長 (第 1 部門: 計測・ナノ物理)
 平成 16 年 10 月 特許庁審判部部門長・審判長 (第 5 部門: 写真材料・電子写真)
 平成 17 年 10 月 特許庁退官
 平成 17 年 10 月 江藤知財事務所
 平成 17 年 10 月～ 27 年 3 月 産業技術総合研究所 知的財産管理室
 平成 20 年～ 29 年 日本知的財産協会臨時研修コース講師
 (現在) 京橋知財事務所

弁理士会歴

平成 17 年 弁理士登録 (14019 号)

公務

平成 12 年～ 16 年 弁理士審査会委員 (試験委員: 特許代表, 総括)
 平成 23 年～現在 独立行政法人工業所有権情報館・研修館調査業務実施者育成研修評価委員

受章に浴して

令和 2 年秋の叙勲の榮譽に浴することができましたのは、偏に、特許庁、日本弁理士会を初め、皆様方のご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

特許庁在職中は、主に化学・材料の審査・審判業務に従事し、審査部では、写真・電子写真等の分野での出願増加と多数の特許付与後異議申立を経験しました。また、審判部では、特許付与後異議制度への変更、無効審判における原則口頭審理の導入、その後の無効審判への一本化等の大きな変革の時期でしたが、業務の傍ら、弁理士試験委員として、高裁判事、大学教授、弁理士会の先生と一緒に仕事をさせていただく機会があり、そこでの経験が弁理士への道に進む契機になりました。

平成 17 年に特許庁を退官した後は、弁理士事務所に所属しながら、産業技術総合研究所でリエゾンマンとして特許相談・特許出願等の仕事を約 10 年続けましたが、発明者から直にお話を聞くとともに、特許制度や審査の手法、特に進歩性の考え方を伝えることで、弁理士の役割をわかってもらえたのではないかと考えております。

また退職後は、特許庁の新人研修の外部講師や企業の知財担当者向けの研修講師等として、微力ながら、審査する側とされる側の双方における人材育成のお手伝いをさせていただきましたが、弁理士として大変良い勉強になり、こうした機会をくださった皆様に感謝しております。



瑞宝小綬章（経済産業行政事務功労）

う え だ ま こと
上 田 忠

学歴・職歴

昭和 50 年 東京工業大学大学院理工学研究科（応用物理学専攻）修了
昭和 50 年 特許庁入庁
審査官，審判官，情報システム課長，審判長を歴任
ジェトロ・トロントセンター次長，発明協会研究所副所長，IPCC 企
画部長として出向
平成 19 年 特許庁退職
平成 19 年 ユアサハラ法律特許事務所
（現在） ユアサハラ法律特許事務所

弁理士会歴

平成 19 年 弁理士登録（15302 号）

受章に浴して

この度，令和 2 年秋の叙勲に浴し，身に余る光栄に存じます。果たして叙勲に値するような業績を挙げたのか忸怩たる思いはありましたが，業績があるとすれば，私を支えて下さった皆様方の御業績と考えるべきであるとの思いに至り，皆様方を代表して章を受けることと致した次第です。そこで，私を支えて下さった方々の中，鬼籍に入られた何人かの方々を順不同でご紹介させて頂き，感謝の意を表したいと思います。

- ・小山田 光夫氏：氏は，私の審査官補時代に指導審査官として厳しく又温かく指導して下さいました。氏の指導により審査・審判業務に取り組む上での基本的な心構えを学ぶことができましたことを大変感謝しております。
- ・葛西 四郎氏：氏とは，仕事上での接点は少なかったのですが，氏の主催する「名酒会」に参加させて頂き，酒を酌み交わしながら，特許に関する考え方や「クレーム論」をご教示頂くとともに議論を行ったことを鮮烈に記憶しております。因みに，氏は，当時「特技懇」誌に「名酒（ナサケ）は人の為ならず」と題したエッセイを連載されており，その縁で「名酒会」に参加させて頂いたという経緯があります。
- ・西田 宗旦氏：氏は，私がジェトロ・トロントセンターに出向した折の所長でしたが，初めての海外赴任で右も左も分からない私を温かく迎えて頂き，又，貴重なご助言を頂きました。豪放磊落な方で，帰国後も氏との付き合いは続きましたが，奥様の御不幸の際にお送りしたお花のお礼の電話を頂いたのが，氏の肉声を聞く最後の機会となりました。
- ・斎田 信明氏：氏は，私が入庁した折には既に庁幹部でしたので，審査・審判業務における接点は殆どなかったのですが，私が IPCC に出向した際の理事長として，数々のご指導・ご鞭撻（むしろ，ご叱責というべきかもしれませんが…）を頂きました。氏は，仕事には厳しい面もありましたが，情もあり，私が IPCC 出向を終えて庁に戻った後，初めて頂いた年賀状の返信にさりげなく私を労う言葉が添えてあり，感動したことを覚えております。

今後も，私を支えて下さった方々の期待を裏切らぬよう精進して参りますので，宜しく願い申し上げます。



瑞宝小綬章（経済産業行政事務功労）

たかぎすすむ
高木 進

学歴・職歴

昭和 50 年 東京工業大学大学院 理工学研究科 修士課程修了
昭和 50 年 特許庁 入庁
昭和 54 年 特許庁 審査第三部 審査官
平成 3 年 特許庁 審判部 審判官
平成 11 年 東京地方裁判所 裁判所調査官
平成 16 年 特許庁 審判部 審判長
平成 19 年 特許庁 審判部 審判長部門長
平成 20 年 特許庁 退職
平成 19 年～平成 30 年 青山学院大学大学院 法学研究科 非常勤講師
平成 20 年～令和 2 年 特許庁 審判部 審判調査員
(現在) 辻丸国際特許事務所

弁理士会歴

令和 2 年 弁理士登録 (22340 号)

受章に浴して

このたびの受章に際しまして各方面の方々から心のこもったご祝詞を頂き誠にありがとうございました。深く感謝いたします。

私、大学在学当時、何か身につけて有効な資格はないものかと思案しておりましたところ、理系にして最高峰の資格といえば弁理士との考えに至り、さらに熟考いたしましたところ、就職先として唯一特許庁が浮かび上がってまいりました。

このようにして特許庁に入庁し、機械関係の審査・審判業務に従事いたしました。審判調査員としての勤務も含めると実に 45 年の長きにわたり特許庁に在籍したこととなります。私にとって知的財産関係の仕事はまさに天職適職でありまして、現に特許庁退職後、年齢のことも顧みず弁理士業を始めるに至りました。

今後は弁理士として、これまでの経験を活かし、微力ではありますが、知的財産制度のさらなる発展に努めていくつもりでおります。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。